

一般社団法人 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会

(Japan Rice and Rice Industry Export Promotion Association)



団体の概要

概要及び設立時期

全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）は、オールジャパンで日本産コメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体として、平成27年(2015年)8月13日に設立。

目的

我が国の良質なコメ・コメ関連食品の海外での需要の開拓・拡大を図り、世界のマーケットに届けるため、

- ① オールジャパンで取り組む共通課題の洗い出し・解決に向けた協力体制の構築
- ② 輸出拡大を通じた、我が国のコメ生産者の所得向上
- ③ 輸出拡大に向けた、輸出事業の共同展開等を実施する。

代表者

代表理事 木村 良

会員

輸出事業者 : 木徳神糧(株)、(株)クボタ、(株)神明、千田みずほ(株)

生産者団体 : 全国農業協同組合連合会、ホクレン農業協同組合連合会

パックご飯メーカー : (株)大潟村あきたこまち生産者協会

米粉・米粉製品 : 群馬製粉(株)、小林生麺(株)、(株)波里 等 **全84会員**※

※令和5年12月7日時点

主な取組

・ 海外における販路開拓活動

会員企業を取りまとめて、輸出拡大重点国を中心に、商談会の開催・展示会への出展

・ 海外におけるジャパンブランドの確立

日本産品であることの識別を容易にし、その品質等を海外の消費者にアピールするための資材作成

・ 輸出拡大重点国・地域の市場・規制調査

消費者のニーズ把握、流通課題の抽出のための市場調査、輸出をする上での課題となる規制調査の実施



ベトナムでの商談会（令和4年度）



日本産米ブランドブック



海外における販路開拓活動例

海外での商談会の開催

- 輸出拡大重点国を中心に、現地事業者と商談会を開催。
- 会員の意向を踏まえ、ディストリビューター、レストランや小売店のバイヤーなどを幅広い分野から招へい。
- コロナ禍においてオンライン商談会增加。そのような中、ライブコマースの開催や商談会前の試食サンプル送付など、成約率を高める取組を実施。



商談会/カナダ（令和4年度）



試食レシピ/シンガポール
（令和4年度）



試食レシピ/フランス
（令和4年度）

展示会への出展

- 令和4年度からは、商談会にはない、新規バイヤーとの「思わぬ出会い」が期待できる海外展示会への出展を再開。
- 展示会と個別商談会を組み合わせ、成果に結び付ける取組を実施。



Specialty & Fine Food Fair 2022/英国（令和4年度）

PRのための資材作成例

- 海外の方が一目ただけで「日本らしさ」を感じられる「富士山・桜・太陽」をモチーフに、稲穂が雲を突き抜けて育つように思いを込めて統一ロゴマークを作成。
- 日本産米などの商品、PR用ポスター、チラシ、名刺などに使用することで、日本産品であることをアピール。



輸出拡大重点国・地域の市場・規制調査例

- 効果的なマーケティング活動を実施するために、輸出拡大重点国における消費者調査を実施。また、各国での規制変更に対応するための調査を実施。

〔全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会
からの聞き取り等を基に農林水産省が作成〕